

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

放射線科 福田 俊憲

【研究責任者】

聖路加国際病院 放射線科 福田 俊憲

【研究代表者】

東北大学医学系研究科 植田琢也

人工知能を用いたマンモグラフィの研究

1.研究の対象

2009年4月～2019年3月に聖路加国際病院で乳房に異常を感じて、または乳癌の手術後でマンモグラフィを受けられた方

2.研究の目的・方法

マンモグラフィは検診や病院における乳癌の精密検査で広く利用されています。近年従来のマンモグラフィに加えトモシンセシスという撮影方法が使用されるようになりました。従来のマンモグラフィは二次元の画像で診断をしますが、トモシンセシスは乳房を何枚かにスライスしたような複数の画像でみることにより詳細な診断をすることができます。このトモシンセシス画像を人工知能に学習させることで、より詳細な乳癌の診断を支援するシステムの開発を行います。さらに、トモシンセシスを行うことにより、従来のマンモグラフィのみの検査と比べ被曝量が多くなってしまいますが、今回、人工知能の技術を使うことで画質の改善・被曝の低減をする方法を開発します。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2022年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

従来のマンモグラフィ、トモシンセシス画像と生検/手術後の病理の所見

4.外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態でハードディスクの郵送にて行います。データと研究対象の方との対応表は、当院の研究分担者が保管・管理します。

5.研究組織

以下の共同研究機関では東北大学で開発された診断支援ソフトウェアの性能評価を担当しています

東北大学大学院医学系研究科 保健学専攻画像診断学分野

（研究責任者：植田 琢也）

住所 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1

TEL: 022-717-7481, FAX: 022-717-7910